

アーカイブ Data Report

NO. 212

(2023年3月27日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・遠隔教育振興会

(*岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

沖縄の海洋保全と地域文化に関するデジタルアーカイブ ～構築から若者に向けて SNS を活用した発信まで～

金城 咲綾・加藤 真由美 (岐阜女子大学)

沖縄の海洋保全と地域文化の継承の関わり

地域の独自性を持った暮らしと文化は自然環境の均衡から生まれる自然の恵みに支えられてきたが、近年、ライフスタイルの変化、観光地への人口集中・周辺地域の過疎、地球温暖化の影響により、それらが崩れ自然の恵みが失われつつある。特に、海水浴・マリンスポーツ、ダイビング等の海に関するレジャーが観光目的の上位に挙げられる沖縄県では、近年、海の生態系への影響が顕著になり、サンゴの白化や海洋ゴミ問題、海岸の人工物散乱の現状が問題視されている。

2030年までに達成を目指すSDGsの17のゴールのうち「14.海の豊かさを守ろう」の指標クリアに向け、行政や関連企業、団体が様々な取り組みを進めるなか、個人で行う環境に配慮した取り組みの重要度が年々高くなっている。

そこで、沖縄の青く美しい海を保全するための日常生活でできる取り組みや海に関する地域文化と海洋保全の関わり等の情報を収集し、沖縄在住の若者に向けてInstagramで発信し、意識の向上を図った。

基礎調査と実践 (情報収集・管理・発信)

基礎調査の一環として、2件のオーラルヒストリーと海に関わる地域文化や地域の海岸の様子について調査しメタデータにまとめた。そのうち1つのオーラルヒストリーの一部を紹介する。

2021年10月「隠れ家カフェ清ちゃん」オーナー島田春奈氏にオーラルヒストリーを行なった。島田氏は長年ビーチクリーンを続け、ゴミと一緒に拾ったシーグラスを使用して作品制作を行っている。



図1 糸満ハーレー；沖縄県内各地の海や漁港で行われる爬虫竜船で競漕する年中行事



図2 ビーチのゴミ；プラスチックの弁当箱とペットボトル



図3 プロジェクトマナティの黄色の袋でビーチクリーンを行う筆者



図4 島田氏のシーグラス作品

また、「プロジェクトマナティ」（株式会社マナティ主催；地域とパートナーシップを組み、誰でも気軽にクリーン活動をアクティビティとして行う取り組み）のホスト&パートナーでもある。

オーラルヒストリーのなかで島田氏は「ビーチのゴミのほとんどが沖縄のゴミで、『消費者であるわたしたち沖縄県人から（意識を）変えなければならない！』ことを強く認識することが沖縄の海洋ゴミを減らす第一歩」と話してくださり、自分たちの認識不足を痛感した。



図 5 糸満海人工房資料館事務局長崎山正美氏へのオーラルヒストリー（権利処理を行なった上で YouTube に公開している。）

オーラルヒストリー以外にも行なった調査から得た情報を発信の際に活用できるよう複数のエクセルシートに整理し、発信後は発信情報の管理や「いいね数」「コメント」等も記録した。

結果、短期間で一定の成果を挙げることは難しく、長期的な計画や計画にそった継続的な発信など、情報の活用や発信を見なおす必要があると感じた。SNS マーケティングについて再度調査し、配信方法を再検討する。

調査・実践をとおして、沖縄の海洋保全と地域文化の継承の関わりや、収集した情報の流通について学ぶことができた。

表 1 配信計画表（一部）

投稿日	投稿内容	写真	コメント	いいね数	シェア数	リアクションの割合	いいねの種類	コメント	
1	2022/10/29		通学でお世話になっている与那原町でゴミ拾い！	#ビーチクリーン#プロジェクトマナティ#SDGs#海の豊かさを守ろう#文化を守る	0	0	無	9	
2	2022/10/29		意外と車で通りすぎるだけで覚えてなかった。雨風で風まったりボイ捨てで増えたゴミ山でした。	#ビーチクリーン#プロジェクトマナティ#SDGs#海の豊かさを守ろう#文化を守る	0	0	無	11	・地球のためにありがとう！ とんねんにゴミが落ちるんですね。海が大好きです。私は京都に住んでいますが、川や海にプラスチックが流れていかにいうように、ゴミ拾いを始めました。きれいな海を残したいです！ 1人ででも拾ってます。良き海がいつまでも続くように...ですね



図 6 配信一覧画面



図 7 配信画面



図 8 投稿（6 ページ分）環境保全に関する豆知識と日常生活で簡単に実践できる取り組みの発信

今後も沖縄の海洋保全と海に関わる地域文化の継承についての調査と発信をライフワークとし、沖縄の各地域で営まれてきた唯一無二の地域文化の価値を、なにより沖縄県民が知り、保全活動の輪が広がっていくことの一助となりたい。